



練馬区立開進第一中学校

開進一中だより

令和元年度 第10号 令和2年2月28日発行

畏敬の念

校長 古山真樹

2月、日本の最も寒い時期。草木は枯れていても青空は1年中で一番くっきりと深い青色を見せてくれます。また自然は冴え冴えとした輪郭を現します。私が通う西武池袋線では石神井公園駅から富士見台駅近辺では、毎朝のように富士山の姿を拝むことができます。この時期ならではの事です。寒さゆえに空気が澄み、くっきりとした姿、雪を頂いた姿は神々しささえ感じ、なんだか手を合わせてしまいたくなります。

さて先日、2年生と一緒に軽井沢スキー教室に出かけました。この日は寒く快晴。軽井沢に近づくと群馬・長野の山々がくっきりと見えてきました。遠くには真っ白な北アルプスも見ることができました。さらにはガイドさんが発見してくれましたが、遠く八ヶ岳の裾野に富士山まで見ることができました。年に何回かしかない眺めだそうです。浅間山は雪が少ないながらも美しい姿を見せていました。日本の山々がそれぞれの地域で山岳信仰の対象になってきたことが理解できる美しさ、神々しさでした。悠久の時を超えて佇んでいる雄大な姿に畏敬の念を感じずにはいられません。畏敬の念とは、超越した存在、崇高な存在に対して感動し、心の底から敬う気持ちを言います。都会での生活の中でついつい忘れがちになってしまう感情です。我々人間は自然の中で生かされているのだということを改めて実感しました。

今月の金言・名言

私たちは発展するために生まれてきたわけではありません。

幸せになるためにこの地球に生まれてきたのです。

ホセ・ムヒカ

ホセ・ムヒカ氏をご存じですか。南米ウルグアイの前大統領です。世界一貧しい大統領と言われながらも、2012年、国連の「持続可能な開発会議」でのスピーチは、世界中の人々に衝撃を与えました。それは産業革命以来の無限の消費と発展を求める経済の枠組みに警鐘を鳴らすものだったからです。

ムヒカ前大統領は、演説の初めに、「私たちはどんな未来を選ぶべきなのでしょう。人類がこの先、地球の自然と調和しながら生きていくにはどうしたらよいのでしょうか。」とこの会議の本題について問いかけました。そして「一方で、私たちの頭の中では、もっと豊かになって、欲しいものがどんどん手に入る、裕福な生活を望んでいるのではないのでしょうか。」と皮肉りました。限りある資源を裕福な国だけが独占し、欲望を満たしていくことが人類全体の幸せなのかと問題提起したのです。そしてこの言葉「私たちは発展するために生まれてきたわけではありません。幸せになるためにこの地球に生まれてきたのです」と述べました。経済をどんどん発展させることが人類の幸せに結びついているのかと疑問を投げかけ、高価な商品を買うために働き続けて寿命をすり減らす生き方が幸福なのかと問うたのです。さらに「貧乏な人とは、少ししか物をもっていない人のことではなく、無限の欲があり、いくらあっても満足しない人のことだ」と指摘しました。物欲イコール幸福にはつながらないと世界中の人々に断言したのです。人はついつい、あれも欲しいこれも欲しいと欲望の塊のようになってしまいます。しかし、欲しいものを手に入れても欲望は際限なく、返って精神的には満ち足りず、不満ばかりが増大していく。そこには、生きていることへの感謝、今の生活への感謝のかけらもありません。

ムヒカ氏は元ゲリラ戦士だったそうです。ところが捕虜となり、なんと13年間も獄中生活を送ったそうです。その経験をこう語っています。「私は何もない中で生き残りました。この獄中生活のお陰で、どんな小さなことにもありがたみをもつようになったのです」つまり、どんな環境に置かれようと感謝する気持ちを忘れないことの大切さを再認識できたそうです。ですから、大統領になってからも、質素な暮らしを続け、給料の90%を慈善事業と所属する政党に寄付し、大統領官邸には住まず、小さな農場でひっそりと暮らしたそうです。

さて、幸せとは何なのか。人類全体にとっての幸福とは何なのか。自分だけではなく誰もが幸福を実感できる世の中とはどのようなものなのでしょうか。簡単なようでいて難しい問題です。

令和元年度 保護者アンケート 結果と分析

No.	調査項目	肯定評価		否定評価		わから ない
		そう思う	ある程度 そう思う	あまり思 わない	そう思 わない	
H30	回収率 1年 114名 (70.0%) 2年 120名 (81.6%) 3年 86名 (52.4%) 全体 320名 (67.6%)					
1	学校だより、学年だより、ホームページ等を通じて、学校の様子を伝えている	56%	41%	2%	0%	1%
2	保護者会、学校公開、三者面談等を通じて、保護者との共通理解に努めている	49%	46%	4%	1%	0%
3	めあてをもった分かりやすい授業を工夫している	18%	48%	9%	0%	25%
4	運動会、文化発表会、合唱コンクール等の行事を通じて、生徒の力を引き出している	48%	48%	2%	0%	2%
5	職業調べ、職場体験、上級学校訪問を通じて、3年間を見通した進路指導を行っている	41%	44%	6%	1%	8%
6	道徳の授業を中心に命の大切さや思いやり等の道徳心を高めようと努めている	27%	47%	5%	0%	21%
7	挨拶や言葉遣い、規範意識を高める指導を行っている	26%	52%	8%	1%	13%
8	教育相談の充実を図り、いじめや不登校の未然防止に努めている	17%	46%	9%	3%	25%
A	お子様は、楽しく学校生活を送っている	55%	38%	5%	1%	1%
B	お子様は、普段の授業や定期考査に意欲をもって取り組んでいる	34%	44%	15%	5%	2%
C	お子様は、家庭学習の習慣が身に付いている	19%	35%	32%	13%	1%
D	お子様は、挨拶、言葉遣い、学校生活の約束事をしっかりと守っている	27%	61%	7%	2%	3%
E	お子様は、思いやりの心をもって人に接している	37%	58%	3%	0%	2%

数値はすべて上昇

本年度も保護者アンケートにご協力をいただき誠にありがとうございました。回収率は下がりましたが、数値は全部の項目で昨年度を上回り、良好な結果となりました。

また自由記述についても激励の言葉を多くいただきうれしい限りです。改善等の指摘も何件かいただきましたが、個人差のあるもの、印象が分かれるものなど、様々な生徒が集団生活を行う状況を鑑みながら、今後工夫改善をしていきたいと思えます。

新しい対応を進めています

大好評だった練馬文化センターでの合唱コンクール

時期を変更し、練馬文化センターで実施した合唱コンクールは、生徒からも保護者の皆様からも大好評でした。参観された保護者の感想をそのまま掲載します。「ホールになり、より一層きれいな歌声が聞けて感動した。」「文化センターで聴く合唱コンは聞きごたえのあるものでした。席も広く、よく見えました。」「この会場で合唱ができる子供たちはとても幸せです」「ぜひ文化センターでの開催を今後も続けてください。」

服装等の規定について

本年度は、服装等の規定に関しても見直しを図ってまいりました。靴下に関しては白一色から黒、紺も認め、下着に関しても同様に弾力化を図りました。ただし、私服とは違いますので、あくまでも標準服に見合った形の着こなしをしてほしいと願います。また防寒着についても見直しましたが、寒い日にタイツを着用している生徒を見ると、暖かそうでよかったなと感じています。

教科書等の持ち帰り規定について

教科書・副教材等の重さばかりが話題になる議論・報道には、違和感を禁じ得ません。学生・生徒の本文は学習であり、学校で学んだことをより確実に定着させるのが家庭学習です。その家庭学習を進めるためには教科書等の持ち帰りは欠かせません。しかしながら、スクールバッグを自由化しても重くかさばるのは事実。そこで今回、教科書等の持ち帰りを生徒の自主性に任せる試行を行いました。しかし、通知プリントの「原則」はしっかりと守って学習に手を抜かない開一中生であり続けて欲しいと願っています。

同窓会よりテントの寄贈に感謝

ここ数年の異常な暑さの対応として、運動会の生徒席、夏の部活動等の対応で、テントの購入が話題には上がっていましたが、学校予算ではなかなか難しいところがありました。そこで、本校同窓会に相談したところ、生徒達のためにとということで快く購入していただくことになりました。折りたたみ式の簡易テント15張り。これで来年度の運動会は気持ちよく実施することができるようでしょう。学校にとって心強く頼りになる同窓会に感謝します。このような同窓会があることは本校の誇りです。

ICTの活用

練馬区教育委員会の方針で、9月から各普通教室にプロジェクターが入り、様々な画像・映像を教室で映し出して授業を進めることができるようになりました。新しい視聴覚機器の導入で生徒たちの興味・関心もぐんと高まりました。今後はより効果的な使い方を追求していくと同時に、令和3・4年度に全生徒に配布されるタブレットをいかに有効活用していくかを研修していきます。

練馬区生徒表彰

4名の生徒が受賞しました

この「練馬区生徒表彰」は、善行や人命救助、福祉活動や環境美化活動で他の模範となる時、また、部活動等の対外活動・コンクール等において著しい成果をあげた生徒に対し、練馬区教育委員会が表彰を行うものです。なお、対外活動の基準としては、都大会3位以内、関東大会4位以内、全国大会8位以内など、大変厳しい基準が設けられています。今年度、本校では4名の生徒が受賞しました。

1-2 梶 良介【水泳】

- 東京都ジュニア長水路水泳競技大会
男子50m自由形【1位】
- 第67回東京都中学校学年別水泳競技大会
男子50m自由形【2位】

2-1 柳澤 光渚【チアダンス】

- USA オールスターナショナルズ全国選手権大会
決勝進出12チーム中【2位】

3-3 永野 爽夏【軟式野球】

- 第32回 女子軟式野球春季関東大会
中高生の部【優勝】
- 第17回 全日本女子軟式野球選手権大会
中高生の部【ベスト4】

3-3 板山 光太郎【陸上競技】

- 第65回 全日本中学校通信陸上競技大会東京大会
男子共通 四種競技【1位】
- 第72回 東京都中学校陸上競技選手権大会
男子共通 四種競技【2位】

再確認 避難場所と地域の絆

令和元年度「防災標語コンクール」
【優秀賞】 高橋 響（1年）

開進一中生の活躍

◆バドミントン部

◇第3ブロック中学校バドミントン
1年生研修大会

男子シングルス【1位】 木下 颯太
女子シングルス【1位】 堀 菜夏
女子シングルス【3位】 馬淵 芽
男子ダブルス【3位】 荻原 慧
向田 将人

◆卓球部

◇練馬区研修大会

2年生男子の部【1位】 佐藤 空
1年生女子の部【3位】 秋山美咲
1年生男子の部【5位】 中村 結
1年生男子の部【5位】 坂本 晴

2年生 スキー移動教室

2/19(水)～/22(土)

スキー移動教室スローガン

一致団結して、挑戦しよう
～スキーが好きだー!!!～



実行委員長の加藤香佳さんに実施後の感想を聞きました。

部屋で過ごしているときも、食事をしているときも、みんな笑顔で楽しそうでした。スキー実習も、お互いに励まし合いながら取り組むことができ、校長先生からもお褒めの言葉をいただきました。レクの準備など、時間が短くて大変でしたが、学年のみんなが仲良く楽しく過ごせて本当にうれしく思います。とてもいいスキー移動教室になりました。

